



はばたき

学校教育目標 豊かな心を持ち、たくましく伸びてゆく生徒の育成

令和6年度
札幌市立定山溪中学校
学校だより
第1号
令和6年4月8日

『定山溪中学校のKaizen ～チーム担任制の導入～』

令和6年度1学期始業式より

校長 関根 昌彦

皆さんはトヨタという自動車会社を知っていますか。トヨタ自動車は昨年の年間グループ全体の世界販売台数は前年比7.2%増の1123万台となり、過去最高を更新、4年連続販売台数世界一となりました。この販売台数世界一を支えているのは、トヨタの企業風土「改善」です。この「改善」は海外でもローマ字で「Kaizen」と表現されるほど、世界の企業が参考にしているものです。トヨタにとって「改善」は会社経営の根幹です。「改善」を分りやすく言うと、無限の可能性をもっている人間の力を最大限生かすには、知恵を絞って現状を常によりよい方向に改善しようというものです。

トヨタの現場には次のような言葉が脈々と語り継がれています。「会社には仕事に行くのではなく、知恵を出しに行くものだ」これは常に現場では知恵を求められるという意味です。また、「仕事とは、作業プラス改善である」これは決められたことをやるだけでは仕事とは言えないという意味です。

トヨタは、現場での標準が常に進化しています。標準が進化しても常により上の標準を設定することにより、現場は更に進化していきます。これを可能にしているのが、他の職場や他社での好事例の活用です。トヨタでは、職場での好事例は様々な会議でスピーディに共有され、担当者は上司から他部署のよい取組はその現場に行き、自分の目で見てくるように言われ、自分の職場への応用を促されます。このように他の職場や自社以外にもアンテナを広げ、改善を進めていくのです。

皆さんも令和6年度が始まるに当たり、「最高学年としてこんなことを頑張りたい」とか、「2年生になって、このようなことに取り組みたい」という思いや願いがあるでしょう。その思いや願いを叶えるためには、トヨタが改善を進めていくように、自分の周りの人の取組の様子や、日本中の方々の実践例を参考にしたいと思えます。現在では、ネット上においても様々な例が掲載されていますので、私の年代の時よりもはるかに多くの事例に触れることができます。そして、最初から最上位のレベルを求めるのではなく、まずは、自分の現状をしっかりと把握するとともに、目指す目標をしっかりと設定し、どのような取組で達成できるかを考えて、スタートしてほしいと思えます。令和6年度が、皆さんにとって素晴らしい1年になることを期待しています。頑張りましょうね。

さて、ここで校長先生から定山溪中学校の「改善」について話をしたいと思っております。定山溪中学校は、生徒数が少なく、各学年が1学級しかありません。そのため、全ての先生方が全校生徒にそれぞれの授業で接する機会がありますが、学級担任においては、各学級一人しかいなく、翌年度も続けて持ち上がる場合もあります。各学年には副担の先生もおりますが、学年に所属した先生方がより連携して学年を運営したり、一層主体的に皆さんと関わったりする方がよいと考え、「チーム担任制」を導入することにいたしました。これにより皆さんにとっては、担任の先生が複数いることにより、複数の相談窓口ができたり、複数の先生方の考えや価値観に触れたり、皆さんを見守る担任が増えたりするなど、これまでにないプラスの面があると考えております。朝学活で毎日担任が替ったり、給食では複数の先生と一緒に食べたり、教育相談を2回行なうこともあったりして、これまでにないことが起こり、戸惑うこともある

かもしれませんが、小学校から中学校に進学したときに毎時間先生が替わることに慣れていったように、チーム担任制に少しずつ慣れていってほしいと思います。このあと、例年ならば、私から学級担任、副担任の先生の発表がありますが、今年度は学年担任と所属する先生の発表となりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

◆着任者あいさつ◆

○ 今枝 映人（いまえだ あきひと）教頭

札幌市立東月寒中学校より

豊平区の東月寒中学校から教頭として赴任いたしました。自分自身が子どもの頃からスキーや温泉で馴染みの深い定山溪地域で勤務できることを楽しみにしていました。保護者の皆様や地域の皆様と協力体制を築きながら、令和7年度の定山溪学園の開校に向けて努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

○ 西川 祐希（にしかわ ひろき）教諭

（社会科）札幌市立北野台中学校より

初めまして！清田区の北野台中学校から赴任しました、西川祐希と申します！今回この定山溪中学校に赴任したことで皆さんとのご縁が出来たことを本当に嬉しく思います。私は楽しいことをするのがとても好きです。皆さんと一緒に楽しみながら成長していけるように全力で頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します！

○ 高橋 美帆（たかはし みほ）教諭

（保健体育科・技術家庭科）新採用

北海道教育大学釧路校を卒業し定山溪中学校に来ました高橋美帆です。担当教科は保健体育と家庭科です。札幌での勤務も生活も初めてですが、定山溪中学校の皆さんや地域の方々にお会いできるのを楽しみにしていました。皆さんと一緒に学校生活を送る中でたくさんの思い出を作っていきたいなと思っています。よろしくお願いいたします。

○ 竹内 聡子（たけうち さとこ）さん

（校務助手）芸術の森小学校より

芸術の森小学校から来ました。毎朝、徐々に木々が芽吹いてきている山肌を眺めながら、気持ちよく通勤できることに、幸せを感じています。定山溪中学校の輝かしいラストランのために、少しでもお力に

なれるようにがんばります。どうぞよろしくお願い致します。

○ 高橋登美枝（たかはし とみえ）さん

（学校司書）札幌市立西岡北中学校より

このたび定山溪中学校司書として着任しました高橋登美枝と申します。素晴らしい自然豊かな環境の中学校で、生徒の皆さんが「ほっこり」と心を落ち着け、楽しく学習できる図書館運営を心がけ、保護者の皆様、生徒のみなさん、教職員の皆様のご協力を得て努めさせていただきたいと思います。よろしくお願い致します。

◆運動部活動「学校間連携方式」について◆

札幌市では、中学校の小規模化等により、各学校における部活動の設置数が減少傾向にあることから、生徒が希望する種目の運動部活動に入部できないという状況も見られます。そのため、札幌市教育委員会では、生徒が他校の運動部活動に参加する「学校間連携方式」を導入しています。

これは、自分の学校に希望する運動部活動がない場合に、隣接する学校の運動部活動に参加することを可能とするものです。本来であれば自分の学校で仲間と励まし合い、高め合いながら活動することが望まれるところですが、自分の学校に希望する種目の部がない場合でも、他校の部活動に参加することで生徒の活動希望を叶えることができるようになっています。

保護者の皆様には、本事業の趣旨をご理解いただき、スポーツへの興味や関心を同じくする子どもたちが学校の垣根を越えて、共に楽しく、生き生きと活動できるよう、ご協力を賜りますようお願いいたします。詳細につきましては、本校ホームページをご覧ください。